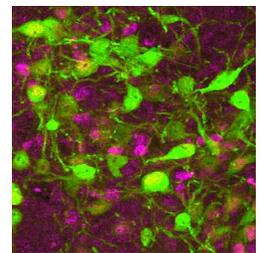
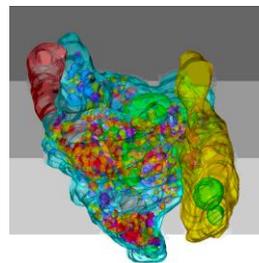


- 痛みや痒みや触覚などの皮膚感覚は生体の警告信号として重要ですが、皮膚の感受性は、環境要因・社会的要因・性ホルモン・遺伝的要因で大きな個人差が生まれます。
- たとえば精神的ストレスが慢性掻痒(アトピー性皮膚炎、乾燥肌)や慢性疼痛を悪化させ、さらに症状の悪化がストレスとなり精神的抑うつを導き、悪循環を引き起こします。
- 反対に、嬉しいできごとや心地よい触覚(スキンシップやハグ)による人との絆で、痛みが和らぐことがあります。
- このような「こころ(脳)」と「からだ(皮膚感覚)」を繋ぐ神経基盤を明らかにして、心身ともに健やかな生活を送ることができるよう、研究を通して検討しています。

掻くと皮膚が悪化すると頭でわかっている、
掻かずにはいられない!!



慢性掻痒時に活性化される神経
痒み伝達分子 神経活性化マーカー



慢性掻痒病態モデル

◇研究テーマ

- かゆみと痛みを伝達する神経回路の違い
- かゆみや肌の感受性の個人差、性差
- 社会性と知覚の関連
- こころ(脳)とからだ(皮膚感覚)
を結ぶ神経回路とストレス軸の関連解析

◇講義・実習

- 1回生前期
心身健康学概論I (神経科学の成り立ち)
心身健康学概論II (生理・心理学実験法)
- 1回生後期
生活健康学概論(知覚と健康、健康と性差)
- 2回生前期 人体生理学実習(生活健康学実験I)
- 2回生後期 脳機能形態学
- 3回生前期 被服生理学
- 大学院 行動神経科学/演習

◇研究手法

- かゆみ、痛み、触覚、不安・鬱様行動解析
- 神経回路の可視化
- 化学遺伝学、光遺伝学
- 疾患モデル
アトピー性皮膚炎モデル
結膜炎(眼のかゆみ)モデル
- ヒトの肌の感受性解析

◇歓迎します!

- 自分自身のこころと身体に興味がある人
- 生命現象や日常に「なんでだろう?」と疑問が持てる人
- 大学院進学、海外留学に興味がある人
- 共同研究先でも生活していける人